

有水中学校だより



HPのQRコード



令和6年12月24日

☆ 受験に向けて ～ 学校運営協議会による集団面接指導

12月20日学校運営協議会の方々に来ていただき、3年生全員の集団面接指導を行いました。3名1グループで面接を受け、気になる箇所を評価シートで生徒たちに返していただきました。お忙しい中に面接指導をしていただきましたが、生徒たちにとっては、日ごろ顔を合わせている教職員ではない方々に面接をしていただくことは、本番に向けてより良い経験となったと思います。面接後に校長で振り返りを行いました。声の大きさや簡潔な話し方など、今後さらに伸ばしていく課題がわかり、私たちも細かな指導を行っていききたいと思います。



3年生は、私立受験の願書等着々と準備を行っています。今年から私立は、WEB出願が始まり、保護者が受験事務の一端を担うことが多くなりました。今後この傾向がさらに加速すると予想されます。1、2年生は「提出期限を守る」「文章を読み取る」という力を高めていってほしいと思っています。

☆ 2学期の成長・挑戦

- ・新体制 ～ 生徒会(生徒会への立候補、専門委員会、生徒集会の準備・運営、歳末募金活動)部活動(地区秋季体育大会、各種大会への参加、日常のボランティア)
- ・校外行事 ～ 都北音楽大会での合奏、合唱、地区英語暗唱弁論大会、小中高生意見発表大会
- ・ボランティア ～ 有水夏祭り、高城地区ボランティア福祉祭り、イルミネーション設置
- ・地域交流 ～ 地産地消・受験激励会、家庭科調理実習、グラウンドゴルフ大会

2学期、生徒たちは様々な挑戦を行い、自身や学年の力を高めていきました。今回一番の成長に繋がったものは、生徒たち自身が企画・運営を行ったグラウンドゴルフ大会だと思います。ボランティアに参加した生徒たちは、学習発表会において3年生が地域提案した以外に自分たちに「何ができるのか」を考え、まずは地域との交流、人とのつながりを大切にしていける活動を実施しました。コロナ禍で人とのつながりが薄くなり、孤立しまいがちな現代。時代は変わっても無くしてはいけない部分を生徒たちが意識して、実行してくれたことはとてもうれしいことだと思います。

挑戦 ～ 変化を恐れず、目標を見定めて、
自分や人のために努力する。
(大人、地域とのかかわり)
生徒の挑戦を支える家庭・地域との連携)

☆ 終業式にて ～ 校長挨拶

終業式の挨拶で「信頼の貯金をしていこう」という話をしました。
「今学期、お褒めの言葉、お礼の電話をいただきました。個人やグループで行った行動が、有水中生として、地域や社会に信頼されている証です。
思いやり、心遣いは、行動や言葉、文字などで形になり、周りの方々に伝わっていきます。

思いやり、心遣いの行動を身近なところ、小さなことから身に付け、習慣にしていくと、これからは周りの方から信頼され、あなたの方がさらに幸せになります。

相手を意識しながら、ひと手間を惜しまない、この心がけを校内から広げていくと、さらに素晴らしい学校生活に成ることでしょう。」

思は見え
思は見え
心は見え
心は見え
心や思は見え
心や思は見え
形は見え
形は見え